

チョウゲンボウ（ハヤブサ科） 全長35センチ

美郷町六郷で、チョウゲンボウを見つけたのは十数年も前でした。上空を飛び回るチョウゲンボウの営巣地はどこかと、散々探し回ったがなかなか見つかりません。

やっと見つかったのは、六郷町役場・現美郷町中央行政センター3階の南側壁面です。ここは他の壁面と違い波板状に凹凸があり、一部分に隙間があります。

チョウゲンボウにとって、ここはカラスなどの外敵が入りできない構造であり営巣地として利用したのでしょう。その後、毎年春になると決まってこの庁舎に飛来し、子育てを繰り返してきました。



つがいでしょう。左がメス。

今年も3月下旬には早くも訪れ、つがいと思われる2羽が上空を飛び回っていました。じっくりと観察していると4羽が飛び回っているではないか。お互いにすごいスピードで、羽ばたきと滑空を繰り返している。

そのうち1羽が壁面に飛び込んでいった。長年使用してきた前任者の営巣地から6メートルほど離れた隙間である。別のつがいがここで子育てするのだろうか。



オスがモグラを捕まえてきた。



外壁の隙間に営巣中。オスが飛び込んできた。

同じ場所で繁殖してくれたら嬉しいことですが、お互いがまだ警戒しながらの状態が続いています。
4月上旬2つの営巣地に出入りするチョウゲンボウが確認されたことから、雛の誕生が期待できそうです。



巣穴から飛び出した。



先達のオスが、新しく現われたオスを追い払っている。